

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、平成24年度に臨時教授会1回を含む13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定、施設整備及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、平成24年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、平成24年度に臨時教授会3回を含む15回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定、施設整備及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

5 地域連携研究センター

地域・産学連携部門、人材育成・継続教育部門、国際交流部門、紀要編集委員会の4セクションに構成員を配置して、研究活動、地域貢献および国内外ネットワーク形成の推進を担い、活動を行った。また、運営会議（計12回開催）で課題や情報を集約したほか、知的財産委員会を構成し、学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。主な活動内容は以下のとおりである。

<地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、本学教員・学生が本来の活動の延長上で教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動の協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官連携のきっかけを探るために、「ビジネスEXPO」等学外の展示会へ出展したほか、産学官研究交流会を開催した。

<人材育成・継続教育>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした9コース・16コマの講座を、延べ737名が受講した。

<国際交流>

国際交流事業として華梵大学とのワークショップ、又松大学語学文化体験研修への参加、ノボシビルスク芸術大学とのワークショップを実施した。また、承德医学院との学术交流協定を更新した。国際化方針策定に向けての枠組みについて協議し、作成した。

<紀要編集>

研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第7巻」の発行にあたり、全ての投稿論文について査読を経て掲載の可否を決定し、9件の論文を掲載した。

<研究推進>

地域や産業界から依頼された受託研究16件、寄附金4件の受入れを行い、次年度の学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費）の公募と審査に係わる制度設計を行った。また、両学部の教員の交流を図るため、研究交流会を企画・実施した。

<知的財産委員会>

「広域大学知的財産アドバイザー派遣事業：（工業所有権情報・研修館主催）における広域大学知的財産ネットワーク」（①北海道地域中小規模大学知財ネットワーク、②異分野融合によるデザイン産学官連携広域ネットワーク）へ加盟した。当該事業から派遣される大学知的財産アドバイザーによる「知的財産セミナー全9回」及び経済産業省北海道経済産業局との共催による知的財産講習会を全学FDとして開催した。また、学生の著作物に関する利用許諾書を整備した。

6 附属図書館

平成24年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。結果、次のことを新たに導入・実施した。

第55回北海道地区大学図書館職員研究集会の当番館をつとめた（8月17日開催）。長期延滞者に対する督促フロー作成し、平成25年度より手続きを進めることとした。学外利用者の図書館利用証発行における写真の提出を平成25年度より不要とすることとした。

芸術の森図書館では、芸術の森美術館との連動企画展を開催（7月17日～8月16日）した。

この他、図書館専門員による他大学図書館への調査訪問を行った（3月7日、2件）。

7 アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う試験区分ごとの従事者説明会の実施、入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成24年度は計10回の会議を開催し、前年度の結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領の策定、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。また、平成27年度以降の入学者を対象とする両学部一般選抜試験及び平成26・27年度のデザイン研究科博士前期課程入学者選抜試験の変更内容を決定した。

学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、高校訪問及び進学相談会等についての企画・運営を行った。

8 キャリア支援センター

キャリア支援センター会議は、両学部に関係するキャリア支援に係る改善・充実を目的として、平成20年4月に設置された。平成24年度は1回開催（7月9日）し、平成24年度予算についての協議や、各学部がそれぞれ抱えるキャリア支援上の課題について意見交換を行った。

9 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理等に関する事項を所管してお